



SAMPLE

# ジャパン石油製品

フェアな価格 確かな信頼

## Japan Products

☆RIM JAPAN PRODUCTS INTELLIGENCE DAILY

★No. 8573 Mar 2 2022

Copyright (C) 2022 RIM Intelligence Co. All rights reserved.

「リム価格」は登録商標です 登録番号・第5387777号

「4リム価格」は登録商標です 登録番号・第5660925号

「リムラック価格」は登録商標です 登録番号・第5660926号

お申し込み >

試読 >

### ◎お知らせ

#### OPRA原則遵守に関する検証報告書の公開

リム情報開発は2021年12月21日、証券監督者国際機構 (IOSCO) により定められた石油価格報告機関 (PRA) に対する原則の遵守に関しまして、合理的保証に基づく検証報告書をウェブで公開しました。当社が発刊する全ての日刊レポートが対象となります。

<対象レポート>

バンカーオイル、原油・コンデンセート、アジア石油製品 (Products)、LPG、ローリーラック、ジャパン石油製品、石油化学、LNG、電力

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/info/pramenu4/>

#### ◎リムエネルギー総合指数22種 (レックス22、2010年平均=100)

2日のレックス22は、前日から1.82ポイント上昇し168.47です

#### -----リムレポートのご紹介-----

リム情報開発のレポートラインアップは、下記のURLからアクセスください。各レポートのサンプルに加え、内容についての詳細な説明がご覧いただけます。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/report/>

原油・コンデンセート	アジア石油製品	バンカーオイル
ローリーラック (国内陸上)	ジャパン石油製品 (国内海上)	LPG LNG
石油化学	ポリオレフィン	電力
バイオマス (週刊)	デイリーデータ	Rim Data File
クリーンエネルギー (週刊)	CROSS VIEW軽油/重油	エネルギー通信

上記に関するお問い合わせは、TEL 03-3552-2411 E-mail [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)



東京時間2022年3月2日水曜日17時&lt;Assessment Closing Time&gt;

◎国内石油製品海上バーjisポット価格 (製油所・油槽所バーjis取り・円/kl)					
東京湾(京浜/千葉)	固定値	中値	前日比	市況連動	
ガソリン	+ 83,500~ 84,500 +	84,000	+2,250	+1700/+2700	
灯油	+ 81,500~ 82,500 +	82,000	+2,000	+1500/+2500	
軽油0.001%S	+ 85,900~ 86,100 +	86,000	+2,250	+2100/+2300	
A重油0.5%S	+ 82,800~ 83,700 +	83,250	+2,000	+1500/+2400	
A重油0.1%S	+ 83,300~ 84,200 +	83,750	+2,000	+1500/+2400	
C重油0.3%S	74,500~ 75,500	75,000	+0	-500/ +500	
C重油3.0%S	67,500~ 68,500	68,000	+0	-500/ +500	
船舶用0.5%S重油	77,500~ 78,500	78,000	+0		
船舶用3.0%S重油	67,500~ 68,500	68,000	+0		
西日本(阪神/大西)	固定値	中値	前日比	市況連動	
ガソリン	+ 83,500~ 84,500 +	84,000	+2,250	+1700/+2700	
灯油	+ 82,500~ 83,500 +	83,000	+2,250	+1700/+2700	
軽油0.001%S	+ 85,000~ 86,000 +	85,500	+2,250	+1700/+2700	
A重油0.5%S	+ 82,800~ 83,700 +	83,250	+2,000	+1500/+2400	
A重油0.1%S	+ 83,300~ 84,200 +	83,750	+2,000	+1500/+2400	
C重油0.3%S	74,500~ 75,500	75,000	+0	-500/ +500	
C重油3.0%S	67,500~ 68,500	68,000	+0	-500/ +500	
船舶用0.5%S重油	77,500~ 78,500	78,000	+0		
船舶用3.0%S重油	67,500~ 68,500	68,000	+0		
市況連動はリム月間平均値に対するプレミアム/ディスカウント 前日比は固定値中値ベース					
アセスメント対象となる受渡月が翌月に移行する当月26日(休日の場合には、直後の営業日)の「前日比」については「-」とする。					

◎国内石油製品ペーパースワップ価格 (国内製油所バーjis取り・円/kl)			
	3月	4月	5月
ガソリン	+ 83,500~ 84,500 +	81,100~ 82,100	- 77,900~ 78,900 -
灯油	+ 81,500~ 82,500 +	+ 82,600~ 83,600 +	+ 81,000~ 82,000 +
軽油0.001%S	+ 85,900~ 86,100 +	+ 89,600~ 90,600 +	+ 88,000~ 89,000 +
A重油0.5%S	+ 82,800~ 83,700 +	+ 79,700~ 80,600 +	+ 77,000~ 77,900 +
A重油0.1%S	+ 83,300~ 84,200 +	+ 80,200~ 81,100 +	+ 77,500~ 78,400 +
C重油0.3%S	74,500~ 75,500	- 71,400~ 72,400 -	- 68,700~ 69,700 -
C重油3.0%S	67,500~ 68,500	- 64,400~ 65,400 -	- 61,700~ 62,700 -

◎東京商品取引所石油先物・日中取引 (東京湾製油所・油槽所バーjis取り・円/kl)						
	始値	高値	安値	帳入値	前日比	出来高
<b>ガソリン</b>						
4月限	-	-	-	80,100	-	-
5月限	-	-	-	76,860	-2,380	-
6月限	80,800	81,700	80,800	81,700	+3,680	8
7月限	79,900	81,000	79,900	81,000	+1,050	3
8月限	79,140	80,500	79,140	80,000	+2,000	6
9月限	80,670	80,670	80,010	80,010	+790	2
合計						19
<b>灯油</b>						
4月限	81,570	81,570	81,570	81,570	+1,000	1
5月限	-	-	-	80,000	+870	-
6月限	-	-	-	80,000	+920	-
7月限	-	-	-	80,000	+40	-
8月限	-	-	-	81,000	+2,030	-
9月限	-	-	-	81,000	+1,520	-
合計						1



軽油							
4月限	-	-	-	88,600	+2,100	-	-
5月限	-	-	-	87,000	+1,300	-	-
6月限	-	-	-	85,500	+1,000	-	-
7月限	-	-	-	84,100	+600	-	-
8月限	-	-	-	82,800	+300	-	-
9月限	-	-	-	81,800	+200	-	-
合計							
原油							
3月限	74,890	77,440	74,710	76,430	+6,530	36	
4月限	72,630	74,010	71,700	73,310	+5,610	249	
5月限	69,540	71,050	68,940	70,570	+4,570	326	
6月限	67,190	68,580	66,690	68,200	+3,660	889	
7月限	65,350	66,800	64,950	66,360	+2,890	11,850	
8月限	64,570	65,190	63,780	64,950	+2,360	1,419	
合計						14,769	
取組高(03/01)(売): ガソリン 431 灯油 113 軽油 0 原油 80,616							
取組高(03/01)(買): ガソリン 431 灯油 113 軽油 0 原油 80,616							
1枚=50kl							

◎東京湾製油所出し陸上スポット価格 (千葉・川崎平均値 円/kl)					
ガソリン	81,650	+650	灯油	83,000	+1,500
未課税軽油0.001%S	83,850	+1,850	A重油0.5%S	82,000	+1,800
A重油0.1%S	82,500	+1,800			

◎原油輸入平均CIF価格 (JCC 円/kl・財務省発表)					
21/12/01-31r	58,991	22/01/01-31r	57,578	22/02/01-28	3月16日発表予定
21/12/01-10	59,346	22/01/01-10	57,020	22/02/01-10	61,109
21/12/11-20	59,485	22/01/11-20	58,065	22/02/11-20	3月7日発表予定
21/12/21-31	58,152	22/01/21-31	57,357	22/02/21-28	3月16日発表予定
r=修正値					

◎原油輸入平均CIF価格予想値 (JCC 円/kl、RIM試算値)					
22/2月		22/3月		22/4月	
62,830	-10	64,210	-40	74,020	+3,860

◎MR船型の日本着輸入価格 (ナフサ・重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)				
	スポット価格		プレミアム	円/kl
ナフサ	+ 1043.75	~ 1067.50	+ 46.50/ 47.00	85,724
ジェット/灯油	+ 124.30	~ 124.40	+ 2.25/ 2.35	93,885
軽油 0.001%S	+ 130.20	~ 130.30	+ 1.90/ 2.00	98,594
重油 0.3%S	+ 759.50	~ 769.50	+ 190.00/200.00	89,521*
重油 380cst 3.5%S	+ 552.25	~ 553.25	+ -3.25/ -2.25	65,570
円ドル換算レート (TTS 円/ドル 3月2日現在) 116.01 *密度0.95				
**ナフサのスポット価格、プレミアムは参考値				

◎MR船型の日本積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)				
	スポット価格		プレミアム	円/kl
ジェット/灯油	+ 122.30	~ 122.40	+ 0.25/ 0.35	91,310
米西海岸向け軽油	+ 128.35	~ 128.45	+ 0.05/ 0.15	95,686
軽油 0.001%S	+ 128.10	~ 128.20	+ -0.20/ -0.10	95,505
重油 380cst 3.5%S	+ 539.25	~ 540.25	+ -16.25/ -15.25	63,325
円ドル換算レート (TTM 円/ドル 3月2日現在) 115.01 *還付金の2,800円を含む				



◎MR船型のシンガポール積み輸出価格 (重油 ドル/トン その他 ドル/バレル)		
	スポット価格	プレミアム
ナフサ	+ 118.90~ 119.00 +	7.10/ 7.20
ジェット/灯油	+ 123.80~ 123.90 +	1.75/ 1.85
軽油 0.001%S	+ 130.60~ 130.70 +	2.30/ 2.40
軽油 0.05%S	+ 129.85~ 129.95 +	1.55/ 1.65
重油 0.5%S	+ 840.25~ 850.25 +	12.50/22.50
重油 180cst 3.5%S	+ 570.00~ 571.00 +	0.50/ 1.50

◎MR船型のインドネシア積みLSWR価格		
	スポット価格	プレミアム
0.45%LSWR(\$/mt)	+ 630.00~ 632.00 +	60.50/62.50*
0.45%LSWR(\$/bbl)	+ 95.45~ 95.75 +	

\*シンガポールペーパーズワップ180cst 3.5%S重油に対するプレミアム

◎シンガポール・ペーパーズワップ (重油 ドル/トン・その他 ドル/バレル)			
	3月	4月	5月
ナフサ	+ 111.75~ 111.85 +	+ 106.90~ 107.00 +	+ 103.20~ 103.30 +
ジェット/灯油	+ 122.00~ 122.10 +	+ 118.65~ 118.75 +	+ 114.55~ 114.65 +
ジェット/軽油格差	- 6.30/ -6.20 -	- 5.65/ -5.55 -	- 4.55/ -4.45 -
0.001%S軽油	+ 128.25~ 128.35 +	+ 124.25~ 124.35 +	+ 119.05~ 119.15 +
重油 0.5%S	+ 827.50~ 828.00 +	+ 804.75~ 805.25 +	+ 782.00~ 782.50 +
180cst 3.5%S重油	+ 569.25~ 569.75 +	+ 573.75~ 574.25 +	+ 568.00~ 568.50 +
380cst 3.5%S重油	+ 555.25~ 555.75 +	+ 560.00~ 560.50 +	+ 554.75~ 555.25 +

◎シンガポール精製マージン (対ドバイ原油・ドル/バレル)			
	3月	4月	5月
ナフサ	4.98	4.86	5.15
ジェット/灯油	15.23	16.61	16.50
0.001%S軽油	21.48	22.21	21.00
重油 0.5%S	20.53	21.76	22.25
180cst 3.5%S重油	-19.20	-13.78	-10.68
380cst 3.5%S重油	-21.36	-15.90	-12.72

◎アジア・バンカー価格 (ドル/mt・届けベース)						
	380cst		VLSFO		LSMGO (日本のみLSMDO)	
東京湾	670.00-673.00	+40.00	855.00-858.00	+63.00	864.00- 874.00	+22.00
西日本	676.00-679.00	+40.00	861.00-864.00	+63.00	874.00- 884.00	+22.00
伊勢湾	675.00-678.00	+40.00	860.00-863.00	+63.00	864.00- 874.00	+22.00
韓国	623.00-626.00	+36.00	832.00-835.00	+82.00	980.00- 990.00	+120.00
シンガポール	582.00-585.00	+24.00	856.00-859.00	+59.00	970.00- 980.00	+88.00

◎韓国出シSR船型輸入採算価格(A重油を除き関税・石油石炭税込み 円/kl)							
荷揚げ地	ガソリン		灯油		軽油		LSA重油
北海道	97,829	+5,559	97,643	+6,473	101,440	+8,184	95,518 +8,189
京浜	97,318	+5,560	97,132	+6,474	100,929	+8,185	95,007 +8,190
中京	97,099	+5,560	96,913	+6,474	100,710	+8,185	94,788 +8,190
関門	96,808	+5,562	96,621	+6,475	100,418	+8,186	94,497 +8,192

**◎マーケットコメント**
**○元売り市中調達**
**トッパー停止数2基 停止率=4.5%**

2日の元売り向け取引は浮上せず。JOFやOTC市場で500~1,000kl級のやり取りはなかった。

**○ガソリン京浜・前日比2,250円高の83,500~84,500円 西日本・同2,250円高の83,500~84,500円**
**【概況】**棒上げ。原油急騰を織り込み、相場は大きく切りあがった。海外原油や先物価格の暴騰もあり、売りアイデアも高めが多かった。

**【成約一覧】** JOF、OTC市場で成約は浮上せず。

**【JOF市場】**午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	83,500 (補助金込み)		83,500 (補助金込み)			
数量	200		200			
市況連動						
数量						

**【東西】** JOF市場では午後2時30分までに京浜と阪神で83,500円のビッドが提示されたもの、カウンターオファーはなく、セッション終了。時間外、OTC市場でも目立ったやり取りはなく、動意自体は閑散だった。

一方、この日は海外原油や先物の暴騰もあり、売り手や手持ち商社などは販価の提示を見送らないしは大幅上げアイデアを伝えている。政府補助金の支給幅拡大報道も流れたが、「それでも足りない」(商社)などの声も寄せられた。JOF市場のビッドに対し、プラス1,000円が一応の目安とされたが、実際の目線はさらに上を見ているようだ。

都市部二次基地で割安玉の出回りはほとんどなかった。製油所玉は一部で価格改定タイム

ラグ玉が残ったものの、二次基地玉は先行値上げもあり、83,500~84,000円に提示も散見。

市況連動は東西ともに固定値の値上がりを受け、月間平均に対してプラス1,700~2,700円までプレミアムが拡大した。

**【東商取】**先物4限月は前日と同じ80,100円で日中取引を終えた。出来高はゼロ。原油先物3月限とのクラックスプレッドは3,670円と大幅に縮小。

**【輸出】**石油連盟がまとめた直近4週の輸出量は61万7,507klに達し、前年を83.6%上回った。在庫は前年を14.6%下回っており、数字上では余剰感はない。

在庫内訳	単位:kl	前週比	粗ガソリン	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	914,442	-14,821	1,291,798	-100,007	159,779	92,188
西日本	747,666	-75,209	697,953	-16,405	42,616	35,576

○灯油 京浜・前日比2,000円高の81,500~82,500円 西日本・前日比2,250円高の82,500~83,500円

【概況】スポット市況は東西ともに前日から大きく切り上がった。民族系の大手元売り2社が3日以降の仕切り価格を大きく引き上げたことに加え、原油市況が急伸したことからこれを唱えに反映する業者が多かった。

月間平均推定値をベースとする月間平均フラットは京浜が80,000円、西日本が80,800円となっている。市況連動商談は京浜が月間平均プラス1,500~プラス2,500円、西日本が月間平均プラス1,700~プラス2,700円と大幅なプレミアムで推移。

### 【成約一覧】

場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件	固定値換算(円)
京浜	JOX	200	85,000	REF(補助金込み)	
京浜	OTC	200	79,000		
阪神	OTC	200	79,000		
大西	JOX	200	85,000	菊間(補助金込み)	
大西	JOX	200	85,000	菊間(補助金込み)	

【JOF市場】午後2時30分時点の最高値、最安値の唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	85,000		85,000			
数量	200		200			
固定値						
数量						

【京浜】JOF市場では引き続き製油所玉が成約されている。価格は85,000円となり、前日の成約水準から2,000円の上昇となった。また、製油所玉を対象に同じく85,000円のビッドも提示されたが、売りに応じる業者はいないままセッションが終了した。成約およびビッドはいずれも民族系の大手元売り2社による仕切り価格引き上げを反映したようだ。

OTC市場では引き続き陸揚げ見合いとして割安な成約が寄せられている。ただ、原油市況の急伸を鑑みて、成約価格は79,000円まで引き上げられた。前日に浮上した成約よりも2,000円高い。陸上スポット市場では北日本から東日本にかけて82,000円前後~82,000円前半が安値圏となっていることから、陸揚げのコストを差し引いた水準から交渉がスタートとなっているという。

JOFおよびOTC市場の成約平均値は約82,000円となっている。

【西日本】JOF市場では大西玉200klが2件成約された。ルートは「菊間」で、価格はいずれも85,000円だった。買値については民族系最大元売りの基準価格が意識されているようだ。また、阪神の製油所玉に対しても85,000円で買い気が示されていたが、売りに動く業者はいなかった。

OTC市場では阪神の油槽所出し200klが79,000円で成約された。陸揚げ見合いとしてディーラーが買い進めた。原油市況は急伸していることから先高を想定する業者がいる一方、政府からの補助金を背景に先安を意識する業者もいる。相場への不透明感から買い気は多くなく、商談水準は割安となりやすいとの指摘もあった。

JOFおよびOTC市場では計3件、600klの成約が浮



上した。成約の平均値は約83,000円となる。

【東商取先物】海上バージ4月限は前日から1,000円高の81,570円。

【在庫】石油連盟がまとめた2月20～26日の在庫統計によると、この間の灯油の在庫水準は前年同期(2021年2月21～27日)よりも17.1%少ない132万

9,000klだった。ただ、前週と比較すると4万3,000klの積み増しとなった。この間の灯油の得率は前年よりも6.3ポイント高い16.6%となっており、生産の増強が寄与したようだ。一方、この間の推定出荷量は前年を39.4%も上回る45万9,000klとなっている。

在庫内訳	単位:kl	前週比	ジェット	前週比	合計	前週比
東日本	957,215	7,399	303,069	-73,347	1,260,284	-65,948
西日本	371,326	35,175	327,292	-31,899	698,618	3,276
輸出内訳						
東日本	8	8	106,594	26,371	106,602	26,379
西日本	0	0	53,196	42,242	53,196	42,242

○軽油 京浜・前日比2,250円高の85,900～86,100円 西日本・前日比2,250円高の85,000～86,000円

【概況】東西ともに大幅上伸。2日の仕切り価格改定では、民族系大手2社が2,000円の引き上げを通知した。これを受けて買唱えが切り上がっている。さらに原油市況が急騰したことで輸入採算価格が上昇するとの見方から売唱えも大きく上伸した。これらのことから東西で仕切り価格以上の大幅な値上げとなっている。

月間平均推定値をベースとする京浜が83,800円、西日本が83,300円となっている。市況連動商談は京浜が月間平均プラス2,100～プラス2,300円、西日本が月間平均プラス1,700～2,700円で推移している。

【成約一覧】成約は浮上せず

【JOF市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	86,000		86,000			
数量	200		200			
市況連動						
数量						

【東西】JOF市場では買い気が示されている。2日は東西で、前日比2,000円高の86,000円のビッドが入った。いずれも補助金込みとの記載がある。対象となるルートおよび数量は京浜と阪神の製油所玉200kl。しかし、売りに応じる業者はおらず成約が浮上しないままこの日のセッションタイムは終了した。

OTC市場の最も安いオファーは東西ともに

2,500円切り上がった。京浜で86,000円、西日本で85,000円の売唱えが伝わっている。原油市況が暴騰したこともあり、「あまり安くは販売したくない」と仕切り価格の上げ幅以上に販価を切り上げるプレーヤーがいた。

【陸上】東名阪では仕切り価格改定日が1日遅い民族系元売り玉が残り、上げ幅はやや抑えられた。東名阪は83,000円台後半の売り物が民族系

元売りルートから出ている。

**【官公需】**第十管区海上保安本部は2日に、4～9月納めの免税軽油計744klを開札した。名瀬港のバージ船向け600kl前回は13,700円高の届け116,200円で竹山産業開発、牛深港バージ船向け144klは前回は14,000円高の同114,000円で江崎汽船にそれぞれ落札された。

また、2日は同管区の古仁屋港向け22年4月～23年3月納めの174klの入札も実施。前回は26,500円高の届け120,400円で落札された。落札業者は有村商事。

**【在庫】**石油連盟によると、2月26日時点の軽油

在庫内訳	単位:kl	前週比	粗軽油在庫	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	727,695	96,903	492,417	-21,288	9,876	-99,254
西日本	717,243	52,517	238,517	-25,420	0	-80,706

OA重油0.5%S京浜・前日比2,000円高の82,800～83,700円 西日本・前日比2,000円高の82,800～83,700円

**【概況】**東西ともに上昇。主要出し元の仕切り引き上げを受けた。市況連動商談は東西とも月間平均プラス1,500円～プラス2,400円。

**【JOF市場】**午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	84,000		84,000			
数量	100		100			
市況連動						
数量						

**【東西】**東西ともにJOF市場で84,000円(100kl)のビッド、OTC市場で82,500円のオファーがそれぞれ寄せられ、83,250円を挟んで売買唱えが交錯した。民族系最大手元売りなどが3日からの仕切り価格を2,000円引き上げたことを受け、卸各社の売買唱えが応分に切り上がった。

**【官公需入札】**海上保安庁、気象庁が合同で2日に実施した東京湾渡し計535klは届け86,400円でNX商事が落札した。内訳は明洋向けが25kl(納入日3月9日)、拓洋向けが220kl(同3月10日)、海洋向けが50kl(同3月10日)、凌風丸向

在庫は前年比1.5%減の144万4,938klだった。東日本は同1.2%増の72万7,695kl、西日本は同4.1%減の71万7,243klだった。2月20～26日の推定出荷量は57万6,254klで、前週および前年と比べ増加している。

輸出量は9,876klだった。前週から94%、前年から89%と大幅に減少しているが、元売り各社の輸出への意欲は衰えたわけではなさそうだ。足元の輸出採算は87,000円台後半で推移しているため、輸出には絶好の機会となっている。元売りが今後も積極的な輸出を画策している様子が市場関係者の話から垣間見えた。

けが140kl(同3月13日)、昭洋向けが100kl(同3月16日)。

また、第十管区海上保安本部が2日に開札した4～9月納期の名瀬港渡し840klは前期比10,700円高の届け114,200円で竹山産業開発が落札した。

**【在庫】**石連が2日に発表した週間在庫統計によると、26日時点の全国のLSA重油在庫は前年同週比726kl(0.3%)増の27万5,459kl。同日までの1週間の生産量は同2万1,911kl(19.6%)増の13万3,602kl、輸出量は同765kl(64.4%)減の



423kl、推計出荷量は同2万1,846kl (20.1%) 増の  
13万280kl。

**OA重油0.1%S京浜・前日比2,000円高の83,300～84,200円 西日本・前日比2,000円高の83,300～84,200円**

【概況】東西ともに底上げ。原油高を受けた。市況連動商談は東西とも月間平均プラス1,500円～プラス2,400円。

【JOF市場】午後2時30分時点の最安値、最高値の売買唱えは以下のとおり。単位:円/kl

	京浜		阪神		大西	
	ビッド	オファー	ビッド	オファー	ビッド	オファー
固定値	84,500		84,500			
数量	100		100			
市況連動						
数量						

【東西】東西ともにJOF市場で84,500円(100kl)の買唱え、OTC市場で83,000円の売唱えを提示し、83,750円を中心にビッド、オファーが逆転した。原油市況の急騰などを受け、プレイヤーの売買唱えが前日から大きく切り上がった。

【官公需入札】海技教育機構が2日に開札した東京湾8日納入の銀河丸向け220klは届け84,100円で商船三井テクノトレード、神戸港9日納入の海王丸向け100klは届け83,500円でNX商事がそれぞれ落札した。

【陸上タンク市況】三愛東京オイルターミナル出しは83,000円台後半、横浜の大東タンクターミナル出しは84,000円台半ばとなった。

【在庫】石連が2日に発表した週間在庫統計によると、26日時点の全国のA重油在庫は前年同週比675kl(0.2%)増の41万25kl。同日までの1週間の生産量は同3,166kl(2.1%)減の15万1,149kl、輸出量は同2万3,480kl(61.9%)減の1万4,430kl、推計出荷量は同1万5,348kl(10.8%)減の12万6,410kl。

**OC重油0.3%S 京浜・西日本ともに前日と同じ74,500～75,500円**

【税込み輸入採算価格】日本着MR船型の硫黄分0.3%重油は前日比1,443円高の89,521円。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸入内訳	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	393,436	24,723	0	0	84,797	46,674
西日本	244,695	-10,940	0	0	43,860	19,447

**OC重油3.0%S 京浜・西日本ともに前日と同じ67,500～68,500円**

【概況】東西ともに横ばい。JOF、OTC市場ともに売買唱えは聞かれなかった。

在庫内訳	単位:kl	前週比	輸入内訳	前週比	輸出内訳	前週比
東日本	583,507	-11,141	0	0	36,199	-16,451
西日本	412,756	-5,139	0	0	8,405	-30,340

**〇0.5%S重油 京浜・西日本ともに前日と同じ77,500~78,500円**

【概況】東西ともに横ばい。原油高を受け、ボンドバンカーの価格が1日時点で792.00~795.00ドルと急騰している。一方、1~3月のメニュー価格は78,000円前後でほぼ確定とみられており、孵代3,000円を加え、比重0.92、為替116.28円で割ると757.17ドルとボンドバンカーよりも割安になる。これを受け、外国船社からの問い合わせが複数件報告されているようだ。なお、石油元売りからの販売枠のほとんどは内航船向けの長期契約分で占められているため、外国船社向けに販売する場合は、スポット市場での調達となるようだ。ただし、その際もメニュー価格あるいは、内燃研適合油フォーミュラでの調達となるため、固定値での売買はないという。

**〇3.0%S重油 京浜・西日本ともに前日と同じ67,500~68,500円**

【概況】東西ともにもち合い。JOF、OTC市場ともに売買唱えは聞かれなかった。

【ボンドバンカー市況の内貨ネットバック価格】京浜の180cstベースで前日比4,290円高の77,352円。

【硫黄分3.5%品のカーゴ輸出価格】前日比1,460円高の63,325円。

**〇スワップ取引・東商取概況**

【スワップ取引当限】ガソリンは前日から2,250円高の83,500~84,500円、灯油は同2,000円高の81,500~82,500円、軽油は同2,250円高の85,900~86,100円、A重油0.5%Sは同2,000円高の82,800~83,700円、A重油0.1%Sは同2,000円高の83,300~84,200円、C重油0.3%Sは同横ばいの74,500~75,500円、C重油3.0%Sは同横ばいの67,500~68,500円。

【東商取先物】当限を対象とした取引では、ガソリンが前日比横ばいの80,100円、出来高はゼロ、クラックスプレッドは同5,610円安の6,790円。灯油は同1,000円高の81,570円、出来高は50kl(1枚)、クラックスプレッドは同4,610円安の8,260円。軽油は同2,100円高の88,600円、クラックスプレッドは同3,510円安の15,290円。

**◎国内石油製品海上JOF・OTC成約**

油種	場所	対象	数量(kl)	成約値(円)	条件
灯油	京浜	JOX	200	85,000	REF(補助金込み)
灯油	京浜	OTC	200	79,000	
灯油	阪神	OTC	200	79,000	
灯油	大西	JOX	200	85,000	菊間(補助金込み)
灯油	大西	JOX	200	85,000	菊間(補助金込み)

## ◎マーケットニュース

**○ENEOS=3日以降の基準価格、全油種で引き上げ**

ENEOSは2日、3～9日出荷分に適用する系列向け基準価格を前週から実質2円引き上げると通知した。複数の市場関係者によると、同週に支給される補助金単価5円を織り込んだが、補助金は前週から満額5円に達しており、仕上がり価格は実質2円の引き上げとなる。ENEOSは2月24日～3月2日出荷分を全油種実質1円引き上げていた。

**○出光興産=3日以降の仕切り価格は全油種、9週続けて上げ**

出光興産は2日、3日以降の出荷分に適用する仕切り価格を全油種で2.0円引き上げると通知した。これで9週続けて引き上げを通知している。レギュラーガソリンの店頭価格が前週の補助金を加算して全国平均171円以上となった際に政府から支給される燃料油価格激変緩和補助金は今週も5.0円だった。出光興産は週次の支給額を月末に合計して特約店に還付するため、今週通知された改定幅は原油コストの上昇分のみで算出されている。

**○東商取=原油当限7万円超え、2013年12月以来の高値更新**

東京商品取引所のドバイ原油先物市場は2日、当限価格が日中取引で7万円を超え、2013年12月以来の高値を更新した。ロシアのウクライナ侵攻で海外原油市場が急騰し、東商取先物も同じく反応した。当限の日中取引帳入れ価格は前日比6,530円高の76,430円。

**○原油・石油製品供給統計週報＝＜石油連盟全国＞**

	今週 2/20～2/26	前週 2/13～2/19	前週比
<b>製油所稼働状況</b>			
週間原油処理量(kl)	3,024,337	3,132,612	-108,275
週間トッパー実稼働能力(b/d)	3,302,700	3,302,700	+0
週間トッパー実稼働率	82.3%	85.2%	-2.9
週間トッパー設計能力(b/d)	3,457,800	3,457,800	+0
週間トッパー設計能力稼働率	78.6%	81.4%	-2.8
<b>石油製品週末在庫</b>			
ガソリン	1,662,108	1,752,138	-90,030
ナフサ	1,342,412	1,255,719	+86,693
ジェット燃料油	630,361	735,607	-105,246
灯油	1,328,541	1,285,967	+42,574
軽油	1,444,938	1,295,518	+149,420
LSA 重油(S分0.1%以下)	275,459	272,560	+2,899
HSA 重油(S分0.1%超)	410,025	399,716	+10,309
A 重油計	685,484	672,276	+13,208
LSC 重油(S分0.5%以下)	638,131	624,348	+13,783
HSC 重油(S分0.5%超)	996,263	1,012,543	-16,280
C 重油計	1,634,394	1,636,891	-2,497
合計	8,728,238	8,634,116	+94,122



原油・半製品・装置原料週末在庫			
原油	9,266,853	9,054,145	+212,708
粗ガソリン	1,989,751	2,106,163	-116,412
粗灯油	340,735	348,505	-7,770
粗軽油	730,934	777,642	-46,708
粗A重油	514,446	513,220	+1,226
装置原料	2,474,811	2,622,063	-147,252
合計	6,050,677	6,367,593	-316,916
石油製品生産量			
ガソリン	895,247	853,760	+41,487
ナフサ	353,441	311,379	+42,062
ジェット燃料油	87,887	168,407	-80,520
灯油	501,397	333,797	+167,600
軽油	735,550	692,607	+42,943
LSA重油(S分0.1%以下)	133,602	112,508	+21,094
HSA重油(S分0.1%超)	151,149	133,383	+17,766
A重油計	284,751	245,891	+38,860
LSC重油(S分0.5%以下)	229,546	146,828	+82,718
HSC重油(S分0.5%超)	173,508	126,019	+47,489
C重油計	403,054	272,847	+130,207
合計	3,261,327	2,878,688	+382,639
石油製品輸入量			
ガソリン	n. a.	n. a.	-
ナフサ	n. a.	n. a.	-
ジェット燃料油	n. a.	n. a.	-
灯油	n. a.	n. a.	-
軽油	n. a.	n. a.	-
LSA重油(S分0.1%以下)	n. a.	n. a.	-
HSA重油(S分0.1%超)	n. a.	n. a.	-
A重油計	n. a.	n. a.	-
LSC重油(S分0.5%以下)	0	0	+0
HSC重油(S分0.5%超)	0	0	+0
C重油計	0	0	+0
合計	n. a.	n. a.	-
石油製品輸出量			
ガソリン	202,395	74,631	+127,764
ナフサ	0	0	+0
ジェット燃料油	159,790	91,177	+68,613
灯油	8	0	+8
軽油	9,876	189,836	-179,960
LSA重油(S分0.1%以下)	423	548	-125
HSA重油(S分0.1%超)	14,430	9,648	+4,782
A重油計	14,853	10,196	+4,657
LSC重油(S分0.5%以下)	128,657	62,536	+66,121
HSC重油(S分0.5%超)	44,604	91,395	-46,791
C重油計	173,261	153,931	+19,330
合計	560,183	519,771	+40,412

単位：kl

「n.a.」は現時点でサンプル数が少ないため発表対象外

**○石油製品の推定週間出荷量(内需) 全国**

	2022/2/20～2/26		前週比		前年比(2/21～2/27)	
	出荷量(kl)	日量平均(kl)	%	kl	%	kl
ガソリン	782,882	111,840	+2.7	+20,639	-4.1	-33,255
ナフサ	-	-	-	-	-	-
ジェット	33,343	4,763	-72.3	-87,183	-57.3	-44,792
灯油	458,815	65,545	-3.3	-15,732	+39.4	+129,723
軽油	576,254	82,322	+3.7	+20,828	+10.4	+54,416
LSA重油	130,280	18,611	+2.5	+3,182	+20.1	+21,846
HSA重油	126,410	18,059	-7.8	-10,627	-10.8	-15,348
A重油計	256,690	36,670	-2.8	-7,445	+2.6	+6,498
LSC重油	87,106	12,444	-21.9	-24,465	+25.2	+17,549
HSC重油	145,184	20,741	+15.3	+19,241	+60.3	+54,623
C重油計	232,290	33,184	-2.2	-5,224	+45.1	+72,172
合計	2,340,274	334,325	-3.1	-74,117	+8.6	+184,762

石油連盟週報から推計 合計にナフサは含んでいない

当該週出荷＝前週末製品在庫＋当該週生産＋当該週輸入－当該週輸出－当該週末製品在庫

**◎お知らせ**
**○『クリーンエネルギーレポート』発刊のお知らせ**

リム情報開発は2021年1月19日、週刊『クリーンエネルギーレポート』の創刊号を発刊しました。

週刊『クリーンエネルギーレポート』では、アンモニアの価格評価に加え、水素、エタノールなど炭素を含まないエネルギーや、排出権取引情報など幅広いトピックスを取り上げます。新型コロナの感染拡大が続く中、脱炭素エネルギーに対する関心が高まっています。『クリーンエネルギーレポート』では、国内外の最新情報を随時掲載していきます。

お申し込みは以下のURLからお願いいたします。下記のURLから12月に発刊しました「プレ創刊号」も試読頂けますので是非お目通しください。

<https://www.rim-intelligence.co.jp/contents/ce1/>

ご購入につきましてご不明な点、ご質問がありましたらお気軽にお問い合わせください。

ご質問は クリーンエネルギーレポートチームまでお願いいたします。

電話：03-3552-2411 E-mail: [info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

◇弊社ウェブサイトURLは [www.rim-intelligence.co.jp](http://www.rim-intelligence.co.jp)

◇リム価格は登録商標です。登録番号は第5387777号。

◇「トレーディングボード」で配信した情報は、価格評価の対象となります。本紙は「トレーディングボード」で配信する成約/ビッド/オファーの提示を受け付けております。

連絡先は国内石油製品チーム:03-3552-2411 メール:[info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

ジャパン石油製品レポートのアセスメントメソドロジー

リンク先: <https://www.rim-intelligence.co.jp/uploaded/assessment/JpnJpnProductsMethodology10022017.pdf>

◇ガソリン、灯油、軽油、A重油の名古屋着輸入試算値は関税・石油石炭税込み





--EDITORIAL AND SUBSCRIPTION INQUIRY: Tokyo--Tel: (81) 3-3552-2411 Fax:(81)3-3552-2415 e-mail: info@rim-intelligence.co.jp Singapore--Tel (65)6345-9894 Beijing--Tel (86)10-8527-1630 Fax (86)10-6428-1725 Shanghai—Tel (86)21-5111-3575 Fax (86)21-5111-3576 India--Tel: (91) 98795-50717



※リムレポートの転送は著作権により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、同契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部の転載も禁じられています。著作権違反が発覚した場合、違約金が発生することがあります。本レポートに記載された情報の正確性については万全を期しておりますが、購読者が本レポートの情報を用いて行う一切の行為に関して、リム情報開発株式会社は責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生し、または発生するおそれがあり、運営が困難となった場合、レポート発行を一時的に中断することがあります。

#### 事業所一覧

[東京本社] Tel:03-3552-2411, Fax:03-3552-2415  
e-mail:[info@rim-intelligence.co.jp](mailto:info@rim-intelligence.co.jp)

[シンガポール支局] Tel:(65)-6345-9894, Fax (65)-6345-9894,  
e-mail:[hagimoto@rim-intelligence.co.jp](mailto:hagimoto@rim-intelligence.co.jp)

[北京支社] Tel:(86)10-6498-0455, Fax:(86)10-6428-1725  
e-mail: [guanhong@rimbj.com](mailto:guanhong@rimbj.com)

[上海支社] Tel:(86)-21-5111-3575, e-mail:[rim\\_sh@rim-intelligence.co.jp](mailto:rim_sh@rim-intelligence.co.jp)

(C) 2022 RIM INTELLIGENCE CO.

お申し込み >

試読 >